

機械器具 3 医療用消毒器
管理医療機器 小型未包装品用高圧蒸気滅菌器 40547020

特定保守管理医療機器 スーパークレーブ PH220

【警告】

- ・ 圧力計の針が「0」のときにのみ、ドアを開けること。[圧力計の針が「0」のとき以外にドアを開けると、やけどやけがをする恐れがあります。圧力計はチャンバー内の圧力の他、温度を表示します。]
- ・ 滅菌性能は被滅菌物の量、入れ方などで変わります。「滅菌カード又は、滅菌テープ」を使用し確認すること。
- ・ 本器の周辺での携帯電話、無線機器、電気メス、徐細動器等高周波を発生する機器を使用する場合は、できるだけ離れた位置で使用する。またこれらの機器とは別系統の電源を使用し、確実に接地を行うこと。[本器に誤作動が生じる可能性があります。]
- ・ 電源は AC100V、15A 以上の医療用 3P のコンセントを使用すること。

【禁忌・禁止】

- ・ 蒸気を通さない容器・袋に被滅菌物をいれて滅菌しないこと。[滅菌できなかつたり、故障の原因になります。]
- ・ 培地・液体・薬品を滅菌しないこと。[薬品類は爆発を起こしたり、チャンバーを腐食させるものがあり、けがややけどの原因になります。また、排気時にチャンバー内の圧力が急激に低下するため、容器から培地などが飛び散り、配管やバルブにつまり、故障の原因になります。]
- ・ 連続運転は行わないこと。[全工程が終了した直後に滅菌を行いますと、ヒーターが熱くなっているため、給水時に水が沸騰して水位検出が早く行われて空焚きとなる恐れがあります。] 完了ブザーが鳴った後、滅菌物を取り出した後、ドアを少し開き 20 分以上の冷却時間を置いてから次の滅

菌をスタートすること。

- ・ 可燃性麻酔剤などが存在する引火性のある環境で使用しないこと。[防爆型の機器ではないため、引火又は爆発を誘引する可能性があります。]
- ・ 作動させたままで外出は危険です。診療終了後、高圧滅菌器を作動させたまま帰宅し、翌朝取り出すという使い方は絶対に行わないこと。[異常発生の場合の即時対処が行えず、事故に繋がる恐れがあります。]
- ・ 被滅菌物を直接スノコ板に置かないこと。[被滅菌物を焦がす原因になります]

【形状・構造及び原理等】

<各部の名称>

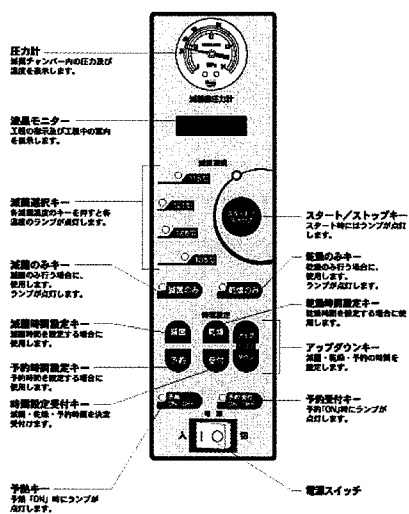
本体外観図



写真はスーパークレーブ PH220 です

取扱説明書を必ずご参照ください

ディスプレイ部



【作動・動作原理】

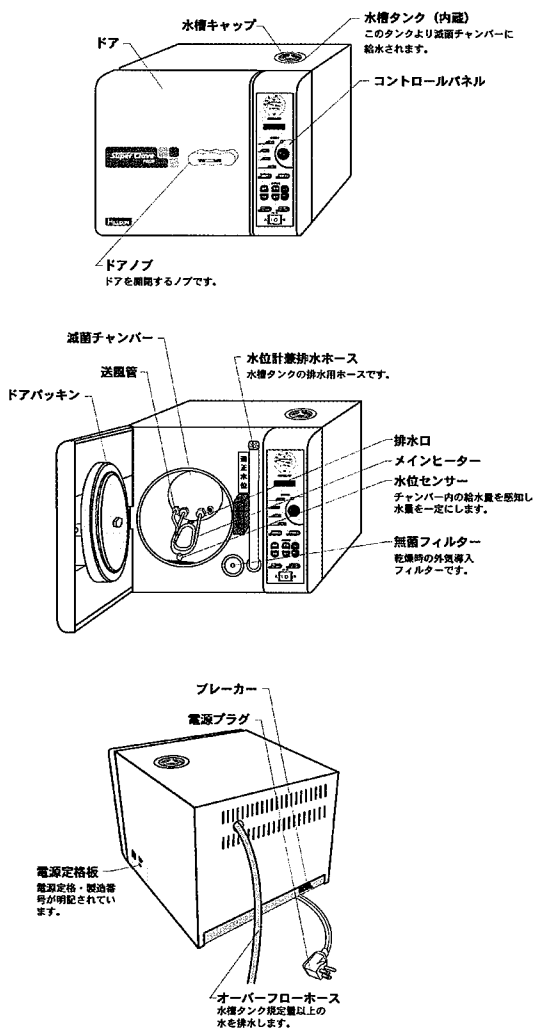
本器は、高圧蒸気による医療用具の滅菌器であり、設定した時間で滅菌から乾燥までフルオートマチックに行います。水を入れた水槽タンクから滅菌チャンパーに給水され、滅菌チャンパーより水槽タンクへ水が排水されます。また、送風方式によって乾燥を行い、マイコン・サーミスタ方式により温度制御を行います。

【使用目的・効能又は効果】

本器は高圧蒸気により、医療用具等を滅菌するために使用。

【品目仕様等】

本体



スーパーレーブ PH シリーズ

スーパーレーブ PH220

外寸法	巾 430mm / 奥行 453mm (ドアノブ 奥行き 36mm 含まず・ゴム足 27mm 含む) / 高さ 367mm
チャンパー有効寸法	直径 220mm × 奥行 330mm
チャンパー収容力	丸カスト (18cm) × 2 個 / 角カスト E22 × 2 個 / 角カスト L22 × 1 個 / 簡易カスト 220 × 1 個
操作方法	ワンタッチ全自動 (前回使用設定保持)
滅菌温度	115℃ / 121℃ / 126℃ / 135℃
温度制御	マイコン・サーミスタ方式
滅菌時間	115℃ : 30 分以上 / 121℃ : 20 分以上 / 126℃ : 15 分以上 / 135℃ : 3 分以上 (各最大 60 分)
乾燥時間	60 分まで変更可
乾燥方式	送風方式・乾燥のみも可
表示方式	液晶ディスプレイ
安全装置	空焚防止装置・圧力安全弁・圧力安全スイッチ・過電流保護ブレーカー
予約	24 時間
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	1.44 k w
重量	27kg
付属品	スノコ板 1 枚・ナイロンたわし 1

詳細については取扱説明書の「4. 各部の名称」「6. コントロールパネルの名称」の章を参照。

取扱説明書を必ずご参照ください

	個・排水フィルター1 個
電撃保護形式	クラス I B 形

スーパークレーブ PH260

外寸法	巾 490mm／奥行 492mm (ドアノブ奥行き 36mm 含まず・ゴム足 27mm 含む)／高さ 397mm
チャンバー有効寸法	直径 260mm×奥行 350mm
チャンバー収容力	丸カスト(21cm)×2 個／角カスト E22×2 個／角カスト L22×1 個／簡易カスト 260×1 個
操作方法	ワンタッチ全自動 (前回使用設 定保持)
滅菌温度	115℃／121℃／126℃／135℃
温度制御	マイコン・サーミスタ方式
滅菌時間	115℃：30 分以上／121℃：20 分以 上／126℃：15 分以上／135℃：3 分以上 (※最大 60 分)
乾燥時間	60 分まで変更可
乾燥方式	送風方式・乾燥のみも可
表示方式	液晶ディスプレイ
安全装置	空焚防止装置・圧力安全弁・圧 力安全スイッチ・過電流保護ブ レーカー
予約	24 時間
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	1.44 k w
重量	35kg
付属品	スノコ板 1 枚・ナイロンたわし 1 個・排水フィルター1 個
電撃保護形式	クラス I B 形

【操作方法又は使用方法等】

1. 電源スイッチを「入」にします。圧力計が「0」であることを確認して、被滅菌物を滅菌チャンバーに入れ、ドアを閉じてドアノブを CLOSE 方向にスライドし、ロックします。前回あるいは事前設定条件の滅菌温度のランプが点灯し又乾燥時間が液晶モニターに表示されます。
2. 「滅菌選択」部の滅菌選択キーを押して、滅菌温度を

選択してください。選択された滅菌温度のランプが点灯します。(前回あるいは事前設定条件と同一条件で行うときはこの項は必要ない)

3. 「時間設定」部の滅菌あるいは乾燥キーを押して、滅菌時間あるいは乾燥時間を設定します。(前回あるいは事前設定条件と同一条件で行うときはこの項は必要ない)
4. 「スタート/ストップ」キーを押してスタートします。工程が自動的に進行し完了します。
5. 完了になると完了音が 30 秒間鳴り、液晶モニターに「カンリョウ」と表示されるので、圧力計が「0」であることを確認して、ドアノブを OPEN の方向にスライドし、ドアを開き、被滅菌物を取り出してください。(ドアを開けると蒸気が出ますので手や顔などを絶対に近づけないでください。又、被滅菌物は高温になっていますので、取り出すときは十分に注意してください。)

詳細については取扱説明書の「8. 操作方法」の章を参照。

【使用上の注意】

- ・ 落下、転倒などによる衝撃が加わった場合は使用しないこと。[本器の外観に異常がない場合でも、内部が破損している可能性があります。]
- ・ 本器の分解、改造をしないこと。
- ・ 電源コードを傷つけないこと。
- ・ 濡れた手で電源プラグに触らないこと。
- ・ 電源コードの抜き差しはプラグを持って行うこと。
- ・ 本器の上に水の入ったものを置かないこと。[水がこぼれたときに、内部がショートして感電の原因になります。]
- ・ 長期間使用しなかった場合は点検を受けるなど、作動上の安全を確認してから使用すること。
- ・ 電源コードは必ずコンセントに取り付け、延長コードへの接続による使用はしないこと。
- ・ 水槽タンクに水を入れたまま移動しないこと。[水がこぼれるなど、感電の原因になります。]
- ・ 水のかからない場所に保管すること。
- ・ 直射日光や紫外線照射下に長時間放置しないこと。
- ・ 長期間使用しない時は、本器の電源プラグをコンセントより取り外すこと。
- ・ 本器は水平かつしっかりした床に設置し、また側面、後面は壁から 5 センチ以上離して設置すること。

取扱説明書を必ずご参照ください

- ・ 本器には指定のアクセサリ、部品以外は使用しないこと。〔指定外のアクセサリ、部品を使用した場合、滅菌性能の低下や警報機能が保証できないだけでなく、医療事故につながる危険性があります。〕
- ・ 異常時(焦げ臭いなど)は運転を中止し、電源プラグを抜くこと。〔異常のまま運転を続けると、感電や火災の原因になります。〕
- ・ 医師又は医療従事者の指導により熟練した人以外は使用しないこと。
- ・ 移動するときは、二人以上でドア以外を持ち、足元に注意して運ぶこと。〔誤って落とすとけがや事故の原因になります。〕
- ・ 運転中や冷却中にチャンバー周辺に触れないこと。〔高温によりやけどの原因になります。〕
- ・ 滅菌直後の滅菌物の取出しには注意すること。〔滅菌物が高温になっており、またドアを開けることによって蒸気が出ますので、手や顔などのやけどの原因になります。〕

使用中に警報が鳴った場合は取扱説明書の「13.警報及び対処方法」の章の説明に従って対応。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

〈貯蔵・保管方法〉

水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。

〈耐用年数〉

保守点検及び専門業者による定期点検を適切に実施して頂いて製造出荷後7年です。(自己認証による)

【保守・点検に係る事項】

- ・ 保守点検、清掃は電源スイッチを「切」にして圧力計の針が「0」になっていること、本器が冷めていることを確認してから行うこと。
- ・ 定期的な清掃や2年に一度、弊社指定の専門業者による点検を行うこと。
- ・ 本器の性能の維持、安全性の確保のために、使用前点検や保守点検等を実施すること。異常が認められた場合、直ちに使用を中止し、弊社までご連絡ください。

さい。

詳細については取扱説明書の「10. 定期点検」及び「11. お手入れ方法」の章を参照。

【包装】

1台/箱

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売元

ヒルソン・デック株式会社

埼玉県入間郡三芳町竹間沢 979-3

TEL 049 (259) 3031

製造元

ヒルソン・デック株式会社

埼玉県入間郡三芳町竹間沢 979-3

取扱説明書を必ずご参照ください